

広報きたやま

Public Relations

Kitayama

I

2017

No.233

初春の
およろこびを
申し上げます



村を守り育てる村政を

北山村長

山口 賢二



皆様、新年明けましておめでとうございます。

村長就任からはや5ヶ月が経ち、新年を迎えるに当たり気持ちを新たにしたところであります。昨年の村長選挙では村民の皆様との対話を通じ、様々な意見や叱咤激励を頂戴しました。皆様の思いを重く受け止め、これから地道に結果を出すことで、その気持ちに応え、村長の役目を果たして参りますので、皆様の深いご理解とご協力をお願い申し上げます。

今後の政策の中心としては「村を守る」ことを柱に進めていきたいと考えています。

第一に奥漕道路Ⅲ期工事の早期完成を目指します。防災・観光・日常生活、すべての根幹を担うのは安心・安全な交通環境があってこそそのものです。一日も早い完成のため、国や県と引き続き事業を展開して参ります。

そして防災について、近年各地で大規模な災害が発生している中、北山村でも防災対策に注力していきます。道路の整備や急傾斜対策などの基本的な整備はもちろん、防災訓練なども、消防団と協力し実施していく考えです。

また、社会福祉協議会の増床を行っているところですが、施設の面に限らず、だれもが健康に過ごせる村づくりを進める必要があります。ウォーキングや健康体操などの各種講座や健康意欲を高める企画を打ち出し、村全体が楽しみながら健康に過ごせるような仕掛けを作っていきます。

教育は子育て環境と英語教育の2つ。来年度からは、学童保育の代替となる環境作りや、村民会館の図書室スペースの整備など、これまで手をつけられていなかった部分について始められるよう準備を開始しています。

英語教育についても、国の必修化の流れを受け、他の地域でも力を入れてくることが予想されます。先進的な取り組みをしてきた矜持を忘れず、今後とも注力し北山村の魅力の大きなひとつとしていきます。

主要産業であるじゃばらや筏、ラフティングといった点は順調に成長してきているといえるでしょう。売り上げや利用者数、ふるさと納税などを考えると、村への関心は高まっております。とはいえ、一方で常に新しい切り口を探していかなければなりません。筏はもちろん、かつて筏師が通った「筏師の道」、山頂から眺める雲海やジオパークなど、まだまだ売り出していける観光資源が実はたくさんあります。

じゃばらについては、任期のうちで一番力を入れていきたいと考えています。生産加工体制の整理や加工場の見直しを図り、コストの削減と収益の拡大を目指します。また、観光客の工場見学や収穫体験、製品作りなどを新たな観光資源として活用することも考えられます。

このように、取り組むべき課題は多く、4年の任期などあっという間に過ぎていくことと思いますが、新しい年を迎えた今、役場としても議会ともども力を合わせ村の発展のために、職員一丸となって頑張っていきたいと思いますので、よろしくお祈りいたします。

最後に、新年が皆様にとって、実りある良い年となることを心より願い、益々のご繁栄とご多幸を祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。



全員で努力して 金^{kin}を取れる北山に

北山村議会議員

久保 學

新年明けましておめでとうございます。村民の皆様におかれましては、新しい気持ちで新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。昨年は、山口新村長も誕生し、議会共々、心機一転、本年も良き北山村にしていく決意でございます。

さて、常日頃から、一人が喜ぶ政策では無く、多くの人の賛同の得られる政策の実現に取り組んでいるところですが、最近、市町村間の行政サービスに大きな差が生じていることはご存知でしょうか。子育て・教育・地域防災・福祉医療など、市町村の状況によって優先順位もまちまちです。自分が住んでいるこの北山村が、どのような行政サービスを提供しているのかご存知でしょうか。柑橘「じゃばら」が大ブレイクした影響もあり、マスコミ等への露出度も高まり、小さな自治体ながらも北山村は全国区ではないでしょうか。近頃よく北山村を取り上げたテレビや雑誌が目に着くと思いませんか。特に、昨年3月にTV放映された、所ジョージさんが司会する『所さんの学校では教えてくれないそこんトコロ!』では、北山村のユニークな地域づくりへの姿が大きな反響を呼びました。どうやら人口500人にも満たない村が、都会の人にとって、活気ある幸せな村に映ったようです。東京や大阪などに住んでいる人からも、「北山村出身として、とても誇らしい思いをした。」という声を聞きました。本年も良い意味で全国の話となる村であってほしいと思います。

さて、昨年の嬉しい出来事は、何といっても奥漕道路Ⅲ期区間が事業化されたことではないでしょうか。道路整備の推進、じゃばら産業の拡大、観光筏など体験観光の推進、救急防災体制の充実、子育て教育への支援など、今日の行政サービスの基盤を作ったのは、前奥田村長の功績といっても良いでしょう。奥田村政を引きついで山口村長には、これまで以上に政策の推進、行財政改革などに、その剛腕を発揮していただきたいと思っております。

また、奥漕道路Ⅱ期完成とⅢ期事業化にあたり、和歌山県・三重県の関係機関の皆様には大変なご尽力を頂きました。その恩恵を受け、新宮市との消防広域化が実現しました。下北山村には、以前からゴミ処理をお願いしています。災害の時なども給食の施設利用についても配慮して頂き大変お世話にもなりました。三重県熊野市神川町では、「七色峡道路等(神川町～熊野市)の道路改善をするための流域住民の会」が発足されました。これにより七色ダム下流に橋を架ける構想もいよいよ現実になる日が来るのではと期待しております。さらに、和医大と北山診療所の連携による、ネットを利用した遠隔医療が試験的に行われようとしています。このように様々な分野で広域連携による取り組みが行われており、今後も信頼関係を大切に、北山村がこの地域を盛り上げていくという気構えで頑張っていきたいと思っております。

最後に、じゃばら産業ですが、北山村へのふるさと納税が大変な勢いで伸びております。今年度の決算ではなんと1億2,000万円を超える寄付金が見込まれるようで、じゃばら商品についても年末は受注発送作業の多忙さで、うれしい悲鳴であったようです。そのじゃばらですが、昭和46年に新しい品種である事がわかり、昭和54年に種苗名称登録許可を受け現在に至り、今やどこでも誰でも生産出来る様になっています。そのためじゃばら果実はもとより、類似商品が多く出回っていて、元祖北山村の商品を脅かしています。じゃばらは北山村原産の貴重なブランドであり宝です。そのためにも、村民の皆様には、ギフトや中元などに積極的なじゃばら商品の購買をお願いしたいと思います。更なるじゃばらの繁栄と北山村の名前を全国に届けるためにも、村民の皆様にご支援して頂くことが大切です。観光筏下りやおくろ温泉に来て頂くためにも皆で頑張るしかない。村ぐるみで努力し「金^{kin}」を取れる村にしようではありませんか。新しい年も災害なく元気で過ごせる事をお祈りし新年のご挨拶といたします。

村民の皆様へ ご挨拶と近況報告

奥田貢でございます。村民の皆様におかれましてはお元気でお変わりなくお過ごしのことと存じます。

村長在任中は格段のご支援とご協力を頂きましたことに心から感謝とお礼を申し上げます。また、皆様には何かとご迷惑をおかけしたことや、至らなかったこと不愉快な思いをさせたことなど多々あったと思いますが何卒ご容赦を頂きたいと思っております。

私も7月25日に村長を退任して約5か月が経過しました。4期16年間を振り返って見ますと数多くのことが脳裏を去来しますが、その結果はともかくとして、何といたっても皆様のご協力のもと大過なく村長の職責を果たせたことが大きな喜びであります。改めて皆様から厚く御礼申し上げる次第であります。

現在は、これまで不摂生つづきであった健康管理をしっかりやろうとの思いからウォーキングを日課として健康維持に取り組んでいる毎日です。お陰様で成果は徐々に上がって来ており、少しはスレンダーな体型になってきたと思っていますので、これからも引き続き頑張っていきたいと思っています。これから寒さ厳しい季節を迎えます、皆様におかれましてはご健康にご留意頂きたいと思っております。

山口村長のもと住民の皆さんが力を合わせて北山村の更なる発展のために頑張ってください。私も微力ではございますが力を尽くして参る所存であります。

終わりに、皆様方の益々のご健康とご多幸を、そして益々のご繁栄をお祈り申し上げご挨拶とさせていただきます。

本当にありがとうございました。

奥田貢

退任時の様子や思い出の写真



長い間お疲れ様でした

奥田村政のあゆみ

奥田前村長は、平成10年3月末に建設省を退職し、故郷である北山村の助役に就任。平成12年8月6日に北山村長に初当選し、平成28年7月25日まで、4期16年にわたる村長の職責を全うされました。その間には奥瀬道路Ⅱ期区間の開通や、わかやま国体、紀伊半島大水害などの様々な出来事がありました。奥田村政の16年のあゆみを年表形式でご紹介させていただきます。

history

平成			
12年8月	○観光筏下りの乗客数のべ10万人突破	22年8月	○中学生の海外語学研修を開始
13年1月	○じゃばらのインターネット販売を開始	12月	○村プロが総務大臣表彰を受章
13年4月	○緊急通報システム、戸別受信機設置事業	23年5月	○おくところ温泉のリニューアルオープン
14年1月	○村道上滝トンネル貫通式	9月	○紀伊半島大水害発生(台風12号) 小松橋の流失、土砂災害、浸水被害
15年2月	○村民の合併意向調査の実施	11月	○第1回じゃばらの里の収穫祭開催
3月	○北山村議会で合併協議会への参画の可決 ○新宮市・熊野川町・北山村合併協議会の調印	24年4月	○北山振興(株)設立
9月	○じゃばらのアレルギーに対する効果を学会で発表	25年4月	○診療所に新しい先生が赴任
10月	○じゃばら果汁が1時間で完売など 15年度じゃばらの売上が2億円を突破	7月	○ヤマザキショップじゃばら屋オープン
11月	○不動バイパスの開通	11月	○東光寺が国の文化財に登録される
7月	○合併協議会離脱 単独村政継続へ	26年2月	○観光筏下りを北山村の無形文化財に登録
18年9月	○平成17年の筏乗船客数 過去最高の9,287人となる	6月	○全世帯への消火器配布事業を実施
19年3月	○北山小学校の新校舎完成 ○日本初の自治体運営ブログサイト「北山ブログ」(村プロ)スタート	9月	○観光筏下りの9月平日運行を開始
4月	○奥瀬道路Ⅱ期工事の事業化	11月	○じゃばら神社の建立
20年1月	○保育園児・小中学生の英会話教室が村民会館で始まる	27年2月	○戸籍の電算化実施
4月	○ふるさと納税の募集を開始	4月	○住宅取得補助金や子ども医療費助成制度の改定など定住施策の強化
6月	○北山村防災会議にて地域防災計画策定	○新宮市との消防広域化実施の決定	
7月	○奥瀬道路Ⅰ期区間全線完成	○学校給食の無償化	
21年5月	○観光筏下り開航30周年を迎える	○北山村にベビーラッシュ到来	
22年4月	○中学生までの医療費の無料化 ○保育料の無料化	9月	○村の悲願である奥瀬道路Ⅱ期区間の全線開通 小松一宮井間の全線2車線化
		10月	○紀の国わかやま国体の開催 北山村でカヌー競技が行われる
		28年4月	○奥瀬道路Ⅲ期工事 新規事業化 ○新宮市への消防事務委託(広域化)開始 村内の救急や火災に新宮消防が出動する

■ 火災警報器は正しい位置に付けましょう

平成23年6月から一般住宅に設置が義務付けられた住宅用火災警報器。正しい位置に取り付けて、万一の火災から命を守りましょう。

どこに取り付ければいいのか？



● 寝室

普段就寝しているすべての部屋に設置します(子供部屋も)。ただし、来客用の部屋は除きます。



● 階段

2階に寝室がある場合には、寝室+階段に設置します。

義務はありませんが、台所及び火災発生の恐れのある部屋にも設置するよう努めてください。なお、台所に設置する場合は、**熱式**の警報器を取り付けましょう。

取り付ける位置は？

部屋の天井で、壁や梁から60cm以上離すように取付をお願いします。また、エアコンや換気扇などの吹き出し口から1.5m以上離してください。

10年をめやすに取替を

住宅用火災警報器の寿命はおおむね10年です。古くなったものは交換をお願いいたします。その他、お問合せ等は役場までお願いいたします。

■ 宝くじの助成金事業でイベント用備品を整備しました



平成28年度コミュニティ助成事業で、大沼区にイベント用備品と倉庫を整備しました。整備した備品は今後の区のコミュニティ活動などに活用されます。
コミュニティ助成事業とは
財団法人自治総合センターが実施する宝くじの普及広報事業費として受け入れる受託事業収入を財源として、地域で行う活動や事業に必要な施設・設備の整備を助成する事業です。

備品一覧

備品名	数量(個、式)
物置	1
音響設備	1
テント	10
ベンチ	10
折畳テーブル	30
折畳椅子	80
折畳椅子用台車	1

■ 防衛省・自衛隊和歌山地方協力本部からのお知らせ

自衛隊和歌山地方協力本部では、下記のとおり自衛官等募集事務を行っております。

受験種目	応募資格	受付期間	試験日	試験会場
幹部候補生	22歳以上26歳未満の者(20歳以上22歳未満の者は大卒(見込含む)、修士課程修了者等(見込含む))は、28歳未満 ※年齢はH30年4月1日現在	平成29年3月1日～5月5日	(一般) 1次 平成29年5月13日(飛行要員) 1次 平成29年5月14日	和歌山市内および全国各都道府県
自衛官候補生	18歳以上27歳未満の男女 ※年齢はH29年4月1日現在	随時	平成29年1月22日(日) 2月18日(土) 3月20日(月)	和歌山市内

問合せ先：自衛隊和歌山地方協力本部 新宮地域事務所(新宮市五新1-24)

TEL・FAX 0735-21-3449



■ ご存知ですか？ 浄化槽の法定検査

浄化槽をお使いの方は、保守点検・清掃の実施、法定検査の受検が法律により決められています。法定検査は、浄化槽が正常に機能し、実際にきれいな水に処理されているかを判断する大切な検査で、年に1回受検が必要です。

お問合せ・お申し込みは

公益財団法人
和歌山県水質保全センター
TEL 073-432-6433

■ 軽自動車の登録は和歌山ナンバーで

軽自動車税は、貴重な市町村の税収になります。軽自動車の登録はぜひ「和歌山ナンバー」でお願いいたします。登録変更の手続きなど、ご不明な点がございましたら、役場税務係までお問い合わせください。

よろしく願います♪



■ 肝炎無料出張相談の開催

国立病院機構南和歌山医療センター「肝疾患相談支援センター」が、新宮保健所で「肝炎無料出張相談」を実施します。肝疾患は専門医による適切な治療を受ける必要があります。同センターでは、最適な治療を受けるためのお手伝いをしています。お気軽にご予約下さい。

日時 平成29年1月13日(金) 10時～16時
場所 東牟婁振興局 新宮保健所

参加費 無料

予約方法 電話予約 0120-92-8160

予約後、キャンセルの方は必ずご連絡ください。

内容 ・肝炎の診断および治療についての相談
・肝炎医療費助成について など約1時間
検査結果等があればお持ちください。

■ 法務局からのお知らせ

『相続登記』はお済ですか？
相続登記を放っておくと

- ・相続した不動産をすぐに売却できない
- ・用地買収の話がきて、兄弟間で争いになった
- ・相続登記を何世代にもわたって放っておくと、相続人の数が増えて、その確認に相当な時間と労力を要する

こうしたトラブルを未然に防ぐためにも、早めの相続登記をお勧めします。

■ 相続登記に関するお問い合わせ先
和歌山地方法務局 073-422-5131(代表)
和歌山県司法書士会 073-422-0568(無料相談会実施中)
和歌山県土地家屋調査士会 073-421-1311

■ 国年通信 国民年金保険料の納付方法についてお知らせ

■ 口座振替がお得です

国民年金保険料の納付には、口座振替がご利用できます。

口座振替は、現金納付よりも割引額が大きい6か月前納・1年前納・2年前納や、月々50円割引となる早割制度が用意されています。

口座振替をご希望の方は、納付書または年金手帳、通帳、金融機関届出印を持参のうえ、ご希望の金融機関または年金事務所へお申し出ください。

■ クレジットカードでも納付できます

平成29年4月からは、新たにクレジットカード納付でも2年前納が利用できるようになり、ますます便利な納付方法になります。

クレジットカード納付をご希望の方は、年金事務所へお問い合わせください。

■ 電子納付(Pay-easy)の利用

Pay-easyなら、自宅や外出先から、夜間や休日でも納付ができます。

納付書に記載されている「収納機関番号」、「納付番号」、「確認番号」をPay-easy対応のATMインターネットバンキングの画面に入力するだけで納付ができます。



じゃばらの里の収穫祭



11/13

晴天のもと今年も盛大に開催

毎年恒例のじゃばらの里の収穫祭が開催されました。昨年に比べると来場者は若干減少しましたが、当日は天気にも恵まれて、会場は大いに盛り上がりました。

ダンスステージや大縄跳び、じゃばらジュースの早飲みなど多数の方が出場したほか、今や大人気の我らが「ジャバライダー」ショーも行われ、写真の様にファンに囲まれる一幕もありました。ジャバライダーを見るために毎年来て下さる方もいるそうで、ますますの活躍に期待をします。

また、猪鍋の無料配布も盛況で、配布前から順番待ちの長蛇の列ができておりました。その他にも土産や屋台など多くの出店があり、売り切れる店舗も多数ありました。今年は新しい取組として、だれでも出店することのできるフリーマーケットコーナーを設け、村内外から出店者が訪れ、洋服や雑貨などが売られておりました。

追善盆踊り・柱松



8/16

伝統の文化をつなぐ夏の風物詩

8月16日に開催された追善盆踊り・柱松には帰省客や観光客が集まり、お盆の北山村に賑わいを見せました。子どもを対象に鮎のつかみ取りも行われ、逃げる鮎を必死に追いかけて子どもたちはびしょ濡れになっていました。用意した鮎があっという間になくなり、嬉しそうにとれた鮎を見せてくれました。子どもたちは、その他にもくじ引きをしたり、かき氷を食べたりと祭りを楽しんでくれた様子でした。

また、いつもの盆踊りに加え、がらぼし音頭も踊られるなど、例年よりも盛り上げりを見せた夏祭りとなりました。

保育所・小中学校発表会



12/10

キラキラの笑顔と衣装で発表会

保育所の発表会が12月10日に行われ、保護者の方やおじいちゃん、おばあちゃん、地域の方々などたくさんの方が保育所を訪れました。園児たちはこの日の為に一生懸命練習を重ね歌や劇、ダンスをしていました。大きな声や仕草で頑張る園児たちに会場は笑顔に包まれていました。年長の2人はきれいな着物で登場し、会場を驚かせていました。また、園児から保護者に英語で質問をする一幕もあるなど、大きな成長を感じる発表会でありました。

村のでまごと

village events

8 ▶ 12

8～12月の村の行事
などをご紹介します。



11/26

様々な演目を披露した小中学校学習発表会

小中学校の学習発表会では、合唱や合奏のほかに劇などが演じられました。全編英語の劇も行われ、保育所から行っている英語教育の高い成果を感じさせる内容でした。少ない生徒数ながら、生徒ひとりひとりが大きな声で、一生懸命練習した成果を披露しておりました。また、中学生は生徒それぞれが北山村に伝わる筏やじゃばらなどについて調べて発表をしていました。

村民運動会

villagers athletic meet

みんなの写真を一挙におとどけします♪

小中学校



保育所



一般





第17回

去りし日の思ひ出

いま、小森ダムゲートの補修工事の為、昔ながらの川がよみがえっています。

朝出勤してから窓のブラインドをあげて川を眺めながら、あそこの岩から飛び込んだり、向かいに渡るときは途中のあの岩で休んだりとか、社協の前の川原では“ウナギ釣り”を置いたとか、非常に懐かしく思い出しながら、つくづく自然のありがたみを感じています。

この状況がもし、夏の時期であったならばひょっとしたら泳いでみたい気持ちになるかも知れないし、竹原の下あたりから筏を流してみようか、ボートで下ってみようかと言う気持ちになるかも。。

こんなことを思う方がいるとすれば、川で泳いで育った私か、私より上の年代であろうと。。別の思いを持たれている方もおられるでしょうが、時代の流れを感じています。

3月頃には、また湖水の底になってしまいます。51年前にもゆっくりと底に沈んでいったように、寂しい思いをするかも知れません。

このコーナー、そのつど感じたことや、思いなどを掲載したいと思っております。

広報担当の枠

神ってるって、本当に流行っているのか

皆様、新年あけましておめでとうございます。

さて、毎年恒例の昨年の振り返りでございます。昨年は、村長の交代や消防広域化など役場としても大きな出来事のある1年でありました。また私事ですが、第一子も誕生し公私ともに充実した1年であったと思います。皆様はどのように暮らし、どんな気持ちで年越しを迎えられたのでしょうか？私は、広報を1号ぬかし、出すと言った広報臨時号も出さないという有言不実行をやらかした事を深く反省しながら、役場でひとりこの文章を書いています。。今年はまだ心機一転頑張りますので、広報きたやまをどうぞよろしくお願いいたします。

それでは、今回の表紙の説明に。今回は11月に行われた勝手神社の祭典を表紙としました。餅ほりをしている写真なのですが、お餅といえば正月らしいという事で時期にも合うかと。さらに図らずも今年の流行語大賞は「神ってる」ということで！神社にも繋がるではないか、というわけです。議長の挨拶は、今年の漢字の「金」で、どうも流行りものに偏った感がありますが、上手くまとまったかと自分では思っています。

我が子の話で大変恐縮なのですが、神社つながりということで、先日お宮参りに行ってまいりました。お食い始めやら何やら様々な風習があるなかで、骨置神社に伝わる面白いことを私の祖母から聞きました。骨置神社の隅にまるとの玉石が祀ってあるのをご存知でしょうか？詳しい云われなどは分からなかったのですが、その玉石に向かって、おしっこを掛ける真似を赤ちゃんにさせると良いというものでした。相当古くからある風習だそうで、とても面白いものだなと思いました。良いと聞いたからには、やってみようという事で、骨置神社にお参りをしてきました。これで元気に育ってくれば何よりです。

七色だけではなくて、他の地区にもこのような面白い風習や言い伝えがあれば、ぜひ教えていただきたいです。

それでは皆様、今年もお元気で過ごしてください。

(広報担当 後呂 翔)